

## 平成29年度資産運用状況について

建設業退職金共済事業等勘定 給付経理

資産運用に当たっては、中小企業退職金共済法及び関係省令・告示並びに[運用の基本方針](#)に則り実施いたしました。建退共制度の安定的な運営を維持しうる運用収益を確保するため、最適な資産の組み合わせである[基本ポートフォリオ](#)に沿った資産配分を行い運用を実施いたしました。

平成29年度の資産運用は、自家運用では、金利が低迷を続け利回りが低下しました。委託運用では、先進国の緩やかな景気拡大等を背景に、国内外の株価が大きく上昇し収益を確保しました。

平成29年度末の運用資産残高は9,755億円となり、当期の運用収益は201億円（運用収入が202億円、うち金銭信託評価益は141億円）、決算運用利回りは2.09%となりました。

なお、当期総利益は18億円を計上し、利益剰余金は937億円を計上いたしました。

資産運用の内訳としては、[自家運用](#)は、期末運用資産残高6,182億円、運用収益56億円（費用控除後）、決算運用利回りは0.92%となりました。

[委託運用](#)は、期末運用資産残高3,573億円、運用収益145億円（費用控除後）、決算運用利回りは4.15%となりました。

委託運用のうち金銭信託に係るパフォーマンスは、資産別では、国内債券・国内株式・外国債券・外国株式ともに[ベンチマーク](#)を上回りました。超過収益率の合計は0.63%となりました。

## 資 産 運 用 状 況

➤平成29年度の資産運用状況は、下表のとおりです。

(単位：百万円)

		運用の方法等	資産額	構成比	運用収入 ①	運用費用 ②	運用収益 ①－②	決算運用 利回り
自 家 運 用	有 価 証 券	国 債	184,770	18.94%	2,547	-	2,547	1.35%
		政 府 保 証 債	335,439	34.39%	2,922	-	2,922	0.88%
		金 融 債	73,000	7.48%	162	-	162	0.24%
		計	593,209	60.81%	5,632	-	5,632	0.96%
	預 金	定 期 預 金	178	0.02%	0	-	0	0.01%
		短 期 運 用	-	-	0	-	0	0.00%
		普 通 預 金	24,802	2.54%	-	-	-	-
		計	24,980	2.56%	0	-	0	0.00%
	計		618,189 <611,575>	63.37%	5,632	-	5,632	0.92%
	委 託 運 用	金 銭 信 託	321,541	32.96%	14,076	-	14,076	4.50%
生 命 保 険 資 産		35,773	3.67%	415	47	368	1.03%	
有 価 証 券 信 託		(177,600)	(29.94%)	31	-	31	0.02%	
計		357,314 <348,752>	36.63%	14,522	47	14,475	4.15%	
合 計		975,503 <960,327>	100.00%	20,153	47	20,107	2.09%	

- (注) 1. 資産額の<>内の金額は、平均残高である。  
 2. 決算運用利回りは、運用収益を平均残高で除した数値である。  
 3. 短期運用は譲渡性預金である。  
 4. 有価証券信託は自家運用により取得した有価証券の信託による運用であり、資産額はその内数である。  
 5. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

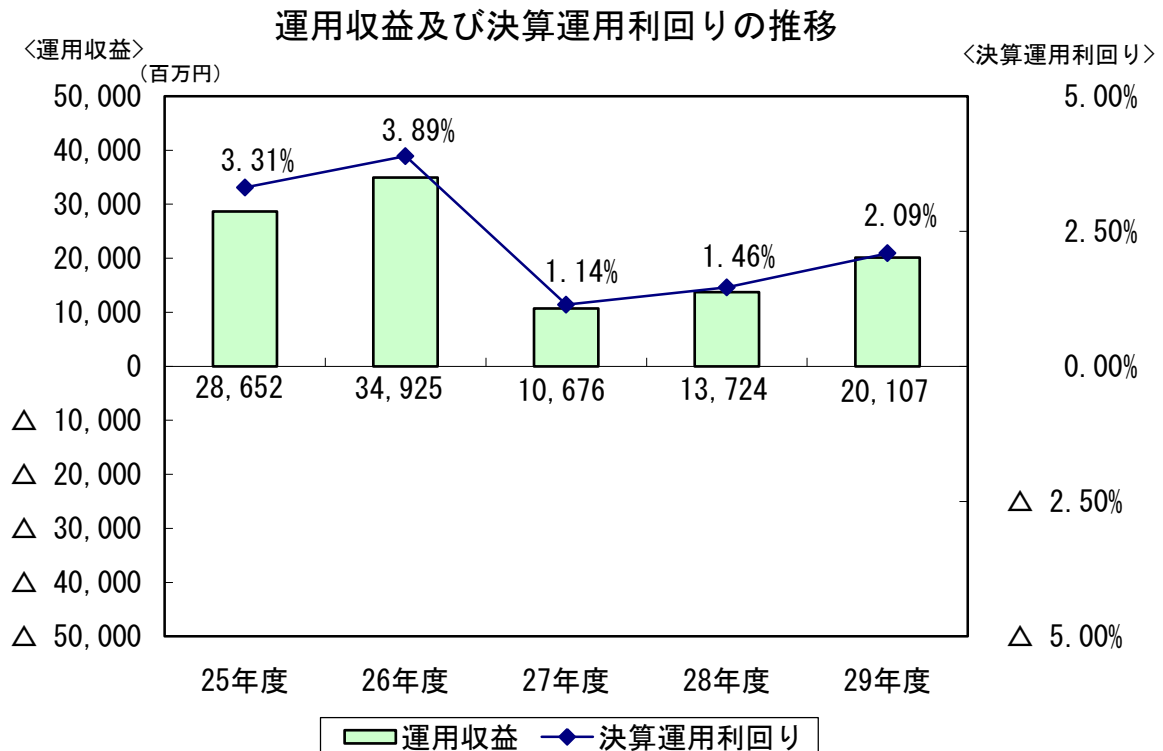
## 運用収益及び決算運用利回りの推移

▶過去5年間の運用収益及び決算運用利回りの推移は下表のとおりで

(単位：百万円)

運用の方法等		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
自家運用	有価証券	7,406	7,137	6,849	6,287	5,632
	預金	9	7	2	0	0
	計	7,415	7,145	6,851	6,287	5,632
委託運用	金銭信託	20,638	27,183	3,366	7,028	14,076
	生命保険資産	593	572	429	382	368
	有価証券信託	7	25	30	27	31
	計	21,238	27,780	3,825	7,437	14,475
運用収益の合計		28,652	34,925	10,676	13,724	20,107
決算運用利回り		3.31%	3.89%	1.14%	1.46%	2.09%

- (注) 1. 運用収益は費用控除後の額である。  
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。



## 自家運用資産の構成状況

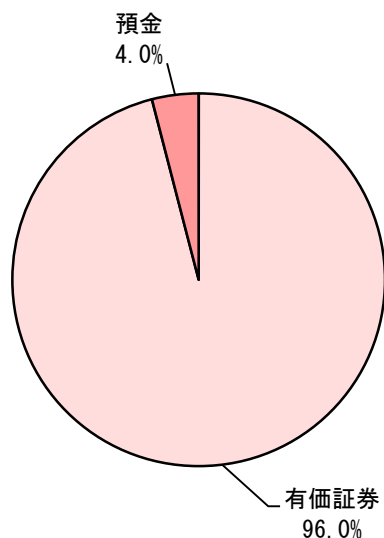
➤ **自家運用**は、元本の償還や利払いが確実な政府保証債を中心に運用し、平成29年度末の資産額は6,182億円で、政府保証債の割合は54.3%となっています。

(単位：百万円)

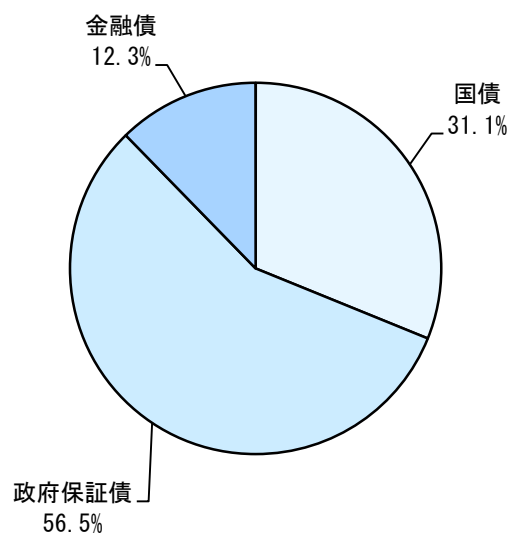
運用の方法等		資産額	構成比	
			有価証券構成比	
自家証券	国債	184,770	29.9%	31.1%
	政府保証債	335,439	54.3%	56.5%
	金融債	73,000	11.8%	12.3%
	計	593,209	96.0%	100.0%
運用預金	定期預金	178	0.0%	/
	短期運用	0	0.0%	
	普通預金	24,802	4.0%	
	計	24,980	4.0%	
合計		618,189	100.0%	

- (注) 1. 短期運用は譲渡性預金である。  
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

自家運用構成比



有価証券構成比



## 委託運用資産の構成状況

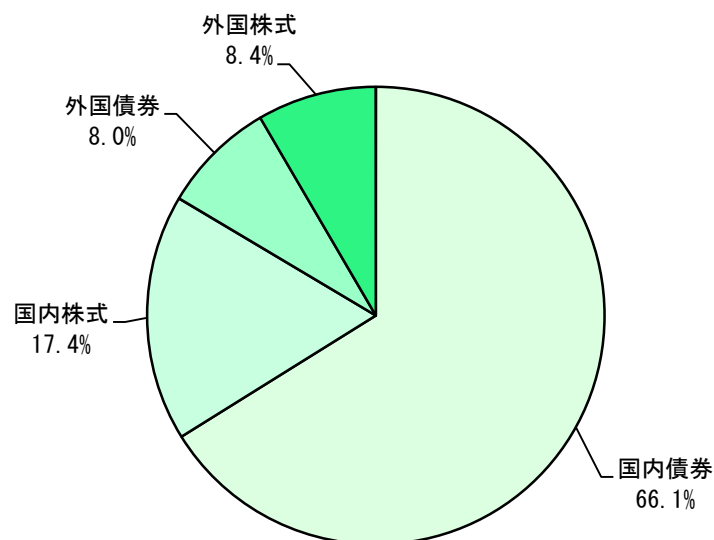
➤平成29年度末の委託運用のうち、金銭信託は、銀行(3社)及び投資顧問会社(6社)に、生命保険資産は、生命保険会社(4社)に運用を委託し、資産額は3,573億円となっています。

(単位：百万円)

運用の方法等		資産額	金銭信託 構成比	
委 託 運 用	金 銭 信 託	国内債券	212,678	66.1%
		国内株式	55,934	17.4%
		外国債券	25,864	8.0%
		外国株式	27,065	8.4%
	計	321,541	100.0%	
	生命保険資産	35,773		
	合計	357,314		

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

### 金銭信託構成比



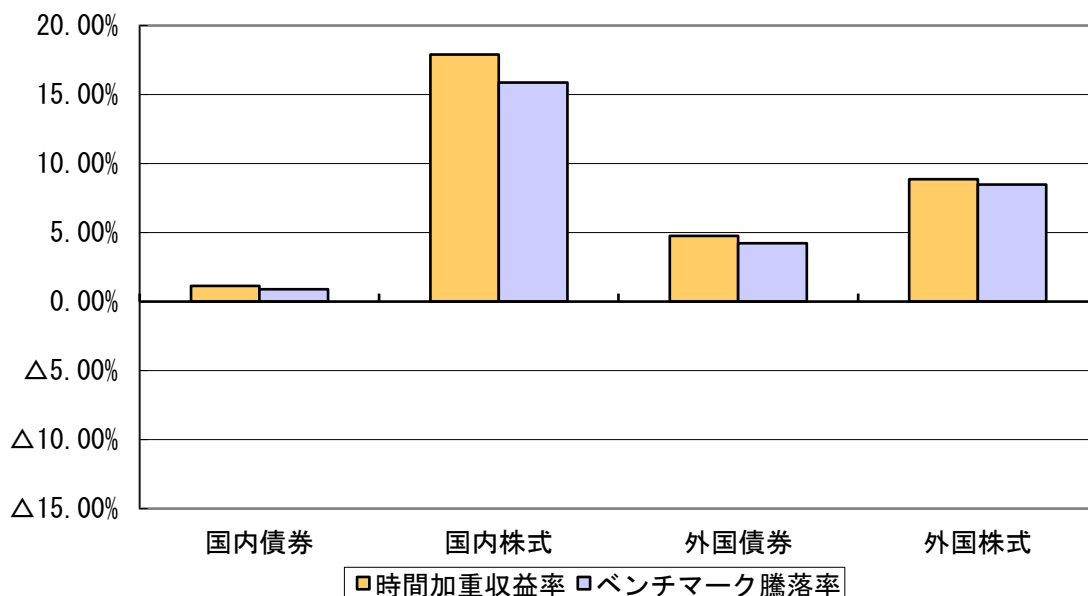
## 金 銭 信 託 の 収 益 率

>平成29年度は、委託運用資産のうち金銭信託の収益率（時間加重収益率）は、  
 資産別にみると国内債券・国内株式・外国債券・外国株式ともに  
ベンチマークを上回りました。  
 また、時間加重収益率の資産合計は4.83%、超過収益率の合計は  
 0.63%となりました。

資産区分		時間加重収益率	ベンチマーク騰落率	超過収益率
金 銭 信 託	国 内 債 券	1.14%	0.90%	0.24%
	国 内 株 式	17.91%	15.87%	2.05%
	外 国 債 券	4.76%	4.23%	0.53%
	外 国 株 式	8.87%	8.47%	0.40%
	合 計	4.83%	4.20%	0.63%

- (注) 1. 超過収益率の合計は、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した合計値である。  
 2. 建退共資産における各資産のベンチマークは以下の通りである。  
 国内債券：[NOMURA-BPI \(総合\)](#)  
 国内株式：[TOPIX\(配当込み\)](#)  
 外国債券：[FTSE世界国債インデックス \(日本を除く、円換算\)](#)  
 外国株式：[MSCI KOKUSAI \(円ベース、配当込み、GROSS\)](#)

金銭信託の収益率



## 運用資産の構成状況

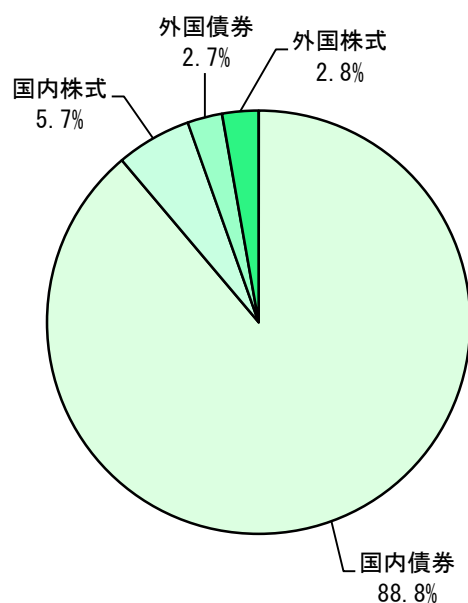
➤平成29年度末の資産構成状況は、[基本ポートフォリオ](#)に定める資産配分に対する[乖離許容幅](#)の範囲内を維持しました。

(単位：百万円)

資産区分	基本ポートフォリオ	乖離許容幅	資産額	資産構成比	乖離状況
国内債券	89.5%	±7.0%	866,640	88.8%	△ 0.7%
国内株式	5.3%	±2.2%	55,934	5.7%	0.4%
外国債券	2.6%	±1.3%	25,864	2.7%	0.1%
外国株式	2.6%	±1.3%	27,065	2.8%	0.2%
合計	100.0%	—	975,503	100.0%	—

- (注) 1. 国内債券には、預金及び生命保険資産が含まれている。  
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

資産構成比



基本ポートフォリオ乖離状況

